

Blackboard@Tamagawa 活用事例

01 リベラルアーツ学部

自習電子教材「INFOSS 情報倫理[®]」の活用

◆はじめに

リベラルアーツ学部では、大学生としての学びに不可欠な力として、コミュニケーション力（日本語、英語、デジタル（ICT））の養成を重視しています。4年間の様々な学習はもとより、専門科目における研究活動、卒業後の社会を生きていくための人間力を身につけるためにも基礎的な力として重要なものだと考えています。リベラルアーツ学部では初年次にこのICT力を養うために「情報科学入門」を必修科目としています。

大学生となって、はじめて自分だけが利用するノートブック型パソコンを所有する学生も多いことから、まずは基礎的なPC操作、学生として必要な情報検索、レポート執筆、簡単なデータ処理、プレゼンテーション技法などを学びますが、一番重要なことは、高度情報化社会、ネットワーク社会といわれる中で、情報を正しく活用する力、大きな危険性もあわせもつインターネットのトラブルに巻き込まれることがないように正しい情報倫理を学ぶことも大きな学修目標です。

◆導入の経緯

この科目の中で、学生はe-Learningについても学習・体験します。昨年までは、教員が作成したコンピュータの歴史教材、オフィスの基本といった操作を学ぶ教材などを利用していましたが、今年度は情報倫理を学ぶ教材が全学で利用可能となったことから、この教材を利用することにしました。

情報倫理については、何度も繰り返し学習することが必要で、入学時のガイダンスで指導したり、大学から配布されているe-Educationガイド等で指導したりしていますが、情報機器やネットワークなどの進歩は速く、それに伴っておきているトラブルも多様であり、学生が事前に知識として知っているべき内容も増加していることから、この課題をとりあげることは大変有意義なことです。

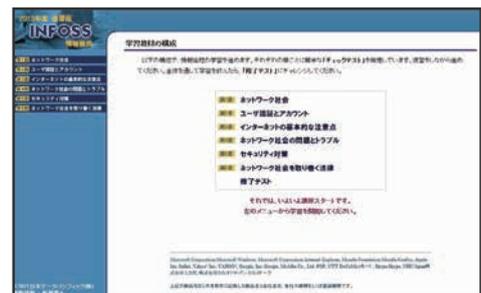


図1. INFOSS 情報倫理速習版

◆ Bb 活用のメリット

学生が自ら学ぶ習慣を身に着けることは現代の社会において最も重要なことですが、その手助けとなる e-Learning の仕組みを使うこと、自ら学ぶとはどのようなことかを体験することも重要です。玉川大学ではこの仕組みとして Blackboard@Tamagawa（以下 Bb と表記）を利用していますが、Bb に課題や資料を提示しただけで学習が進むわけではありません。授業の中で得た知識を、課題を再度確認しながら理解を深めることや、ディスカッションボードで同じ学習者と意見を交わしたり、教員と意見を交わすことなどの活動を通して学習を深めていくことが重要です。

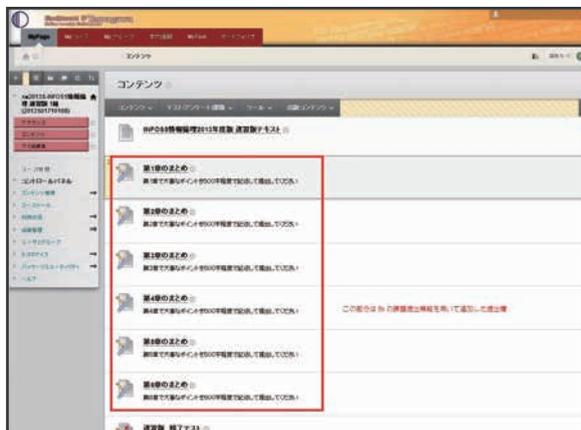


図 2. INFOSS 情報倫理速習版 Bb コース画面

今回の INFOSS 情報倫理プログラムは全学で利用できるように設定されていましたが、科目の中で個別の指導も必要なことから、各クラスごとにアクセスできるようにコース設定を準備しました。また、詳細版と 6 時間程度で学習ができる速習版がありますが、科目の中で、1 コマ（100分）の設定とするため予習復習を含めての利用として速習版を利用することにしました。

この学習は第 1 章から第 6 章までテキストをみながら必要な知識を学び、最後に修了テストを受験して学習の定着度をみる仕組みとなっています。修了テストは何度でも受験することが可能となっていますが、さらに学習を確実にすすめるために、授業では各章のまとめを 500 字で提出する課題を加えました。学生は各章を学習し終わったら、内容の重要なポイント

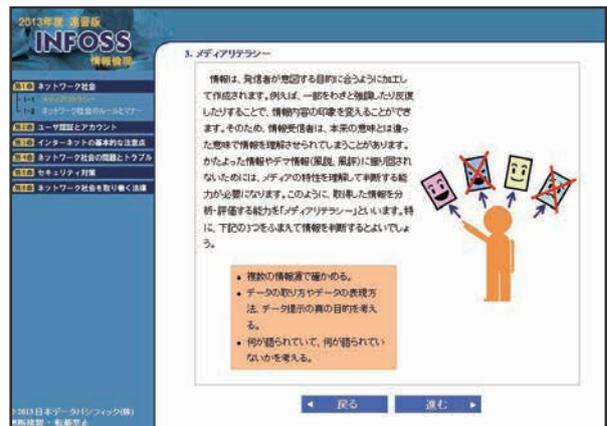


図 3. INFOSS 情報倫理速習版 学習画面①

を 500 字にまとめて課題提出する、6 章まで終わったら修了テストを受験するよう設定しました。また、修了テストは最終の成績に加算することを伝え、100 点になるまで何度でも受験することを奨励しました。

Bb は市販のコース教材であっても、課題を別途作成したり、学習者の途中経過を確認することができるところが大きなメリットです。



図 4. INFOSS 情報倫理速習版 学習画面②

◆今後の展開

リベラルアーツ学部では ICT 力を示す指標として、毎年 1 回 情報活用力診断テストを実施しています。特定非営利活動法人「ICT 活用力推進機構」が主催する情報活用力診断テスト Rasti (www.rastij.jp) は 1000 点満点の総合スコア形式で診断される WEB テストで、論理力、数理力、情報収集力、分析力、整理力、表現力などの分野別能力が評価されることと、情報活用力を情報検索、インターネット・コミュニケーション、ファイル・データ管理、法律・モラル、セキュリティ、数値分析、データベース、文書表現、ビジュアル表現の 9 の詳細能力にわ

けて評価されることから導入しています。この中で法律・モラル分野やセキュリティ分野については学生平均を上回ってはいるものの社会人の平均点には及ばない現状でした。今年度の結果はまだ分析中ですが、この教材の学習結果が成果として現れるものと考えています。

e-Learning 教材の利点は何度でも繰り返し学習が可能なので、ですから、学生が問題にぶつかったとき、この教材に立ち戻り学習できることが重要だと思われます。希望者にはさらに詳細学習版も学習するよう勧めていきたいと考えています。



図 5. INFOSS 情報倫理速習版 修了テスト画面

執筆：照屋さゆり先生
(リベラルアーツ学部教授)

02 e-Learning によって、自ら学ぶことができる電子教材について

現在 Bb にて以下の e-Learning (自学自習) 教材を全教職員、学生向けに公開しております。確認の上ぜひご利用ください。

◆ INFOSS 情報倫理

今号巻頭にて紹介の教材です。「通常版」と、要点をまとめた「速習版」の 2 種類があります。通常版、速習版ともに学習上内容の確認のための「修了テスト」があり、担当教員が受験状況、点数を確認できるようになっています。

< 主な学習内容 (教材より抜粋)>

- ・ ネットワーク社会
- ・ ユーザー認証とアカウント
- ・ インターネットの基本的な注意点
- ・ ネットワーク社会の問題とトラブル
- ・ セキュリティ対策 他

◆ Microsoft Office 2013 入門コース (Word/Excel/PowerPoint)

Microsoft Office 2013 の基本ソフトウェアである Word、Excel、PowerPoint の操作方法の基礎的な部分について、実際の画面と操作方法を用いてわかりやすく説明しています。

各ソフトウェアごとに分かれており、それぞれに「修了テスト」がありますので、INFOSS 情報倫理と同様に担当教員が受験状況や点数を確認できます。



図 6. Microsoft Office 2013 入門コース 学習画面

＜主な学習内容＞

Word2013

- 文字の修飾
- 表の作成
- 印刷とファイル出力

Excel2013

- 数式の入力と参照
- 関数の活用
- グラフ

PowerPoint2013

- スライドの作成
- スライドショー
- グラフィック、オブジェクト

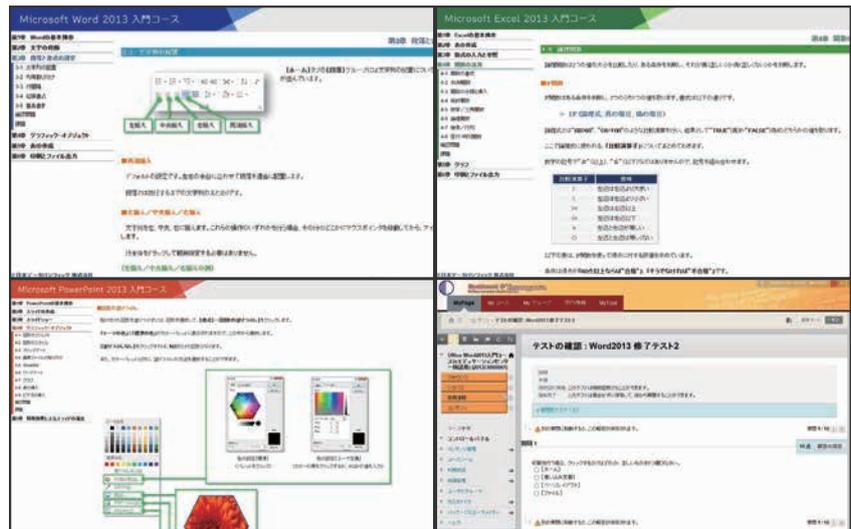


図 7. Microsoft Office 2013 入門コース 学習画面

◆ IT パスポート学習教材

IT 関連資格の一つである「IT パスポート」資格取得に向けた学習教材です。「ストラテジ系」「マネジメント系」「テクノロジー系」の3分野の内容を網羅し、自分のペースで学習を進めることができます。

なお、対策ページの「確認テスト」をBb用に作成する予定です。

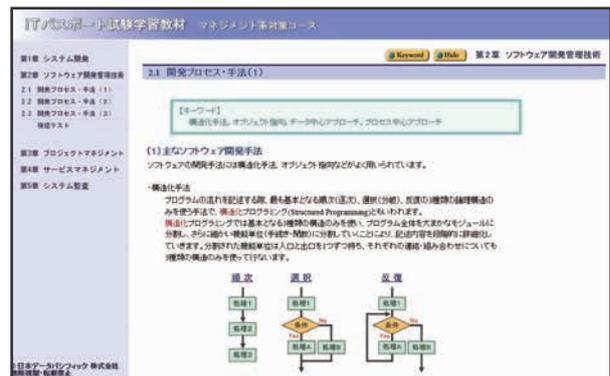


図 8. IT パスポート学習教材 学習画面

※ e-Learning 教材の授業への組み込みについて

e-Learning 教材は Bb 上にあります。独立したコースとしても運用可能で、先生の授業のコースに組み込むこともできます。ご担当の授業の中でご使用になりたい教材がある場合は e エデュケーションセンターにご連絡ください。

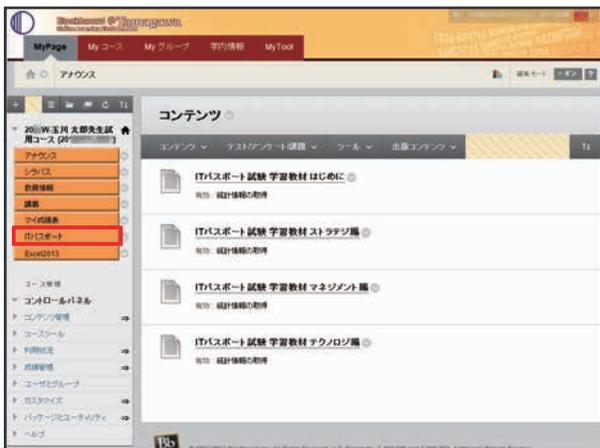


図 9. e-Learning 教材 授業組み込み画面例

IT サポートデスク 活動報告

03

◆ 授業サポートを行いました。

春semesterに続き、文学部比較文化学科、経営学部国際経営学科の要請を受け「一年次セミナー（比較文化学科）」ならびに「経営の数学（国際経営学科）」の各授業においてパソコン操作に関する授業のサポートをしました。

比較文化学科は Microsoft PowerPoint 2013、国際経営学科は同 Excel 2013 の基本操作を学習しました。

一年次セミナーでは、PowerPoint 2013 におけるスライドの作成方法だけでなく、プレゼンテーションの際の注意事項や心構えを、経営の数学では表やグラフの作成方法から、条件を付けた応用的な関数の使用方法などを説明しました。

アンケートを集計したところ「新しい操作がわかってよかった」「プレゼンテーションの心構えを知ることができて勉強になった」等、好評をいただきました。

今後の授業サポートにおきましては、上記のような形態に加え、先述の自習教材を活用したより効果的なサービス形態をご提案できるよう、検討してまいります。



図 10. IT サポートデスク授業サポート風景

◆ 大学推奨 PC 「愛情点検」

去る 12 月 6 日（金）に、大学推奨パソコンの点検フェア「愛情点検」を実施しました。

当日は推奨パソコンメーカーのパナソニックより専任スタッフが来校し、ソフトウェアを使用したパソコンの診断や、機器の清掃作業等を行いました。

今回はメーカー専任スタッフが点検を行いました。推奨パソコンの点検や修理依頼は随時行っておりますので、パソコンの動作が悪い等の学生がおりましたら、IT サポートデスクに来室するようご指示願います。

また、先生方のパソコンに関するご質問等も随時受け付けております。



図 11. 愛情点検 当日の様子

IT サポートデスク
視聴覚センター 204
042-739-8687
support@tamagawa.ac.jp

平成 26 年度 「MyPC 推奨モデル」 及び「芸術学部 推奨モデル」について

◆平成 26 年度の「MyPC 推奨モデル」及び「芸術学部推奨モデル」についてご連絡いたします。

MyPC 推奨モデル Panasonic Let's note LX3

次年度の大学推奨モデルはパナソニックに決定し、4 年間安心して使えるスペックや堅牢性、充実の保証・保険内容、修理時の迅速な対応など、自信をもってお勧めできるモデルとなっております。

特に、マルチタスクを可能とする 14 型大画面の操作感、わずかに約 1.3kg の質量で携帯性に優れたモバイル PC です。

先生方も次年度の私費・研究費での購入が可能です。ご案内は 4 月下旬以降の Notes 掲示板にて掲載を予定しております。



図 12. Let's note LX3

主な仕様

OS: Microsoft Windows 8.1 Pro
CPU: インテル Core i5-4200U
HDD: 500GB
液晶: 14.0 型 HD + (タッチ未搭載)
バッテリー駆動時間: 約 10 時間
質量: 約 1.3kg

芸術学部推奨モデル Apple MacBook Pro

芸術学部推奨モデルでは、最新の Intel Core i5 プロセッサが搭載されており、処理能力だけでなくグラフィック能力も大幅に向上しています。さらに、4GB のメモリが標準で内蔵され、iLife・Adobe ソフトも快適に使用できます。

また、保証体制に関しても 4 年間のメーカー保証と動産総合保険が付帯しており、安心して学生生活を過ごすことができるモデルとなっております。



図 13. MacBook Pro

主な仕様

OS: Mac OS X 10.9 Mavericks
CPU: インテル Core i5 (2.5GHz/2 コア)
HDD: 500GB
液晶: 13 型
バッテリー駆動時間: 約 7 時間
質量: 約 2.0kg

編集後記

今回紹介した自習電子教材は、学生の IT 基礎力を向上させるためには有効なコンテンツと考えます。

Blackboard のコンテンツとして扱えるのも大きな特徴で、学部・学科・クラス・コース等様々なグループ分けが可能ですので、積極的なご活用をお願いします。

特に「INFOSS 情報倫理」は学生だけでなく、先生方にも内容を確認いただければ幸いです。

玉川大学

e エデュケーションセンター

東京都町田市玉川学園 6-1-1

Tel : 042-739-8820

Fax : 042-739-8825

e メール : bbhelp@tamagawa.ac.jp

e-Education NewsLetter 2013 Vol.2

2013 年 12 月発行